

超幸齢社会を支える介護 改革に向けた重要論点

令和9年度の介護報酬改定に向けた議論が本格化しています。

私自身、これまで医療・福祉の現場に携わってきた中で、**介護が日々の暮らしを支え、地域社会を支える重要な基盤**であることを実感してきました。

介護は、特別な誰かの問題ではありません。豊橋・田原をはじめ東三河で暮らす皆様にとっても、**自分自身や親世代、家族、地域の未来に直結する“生活インフラ”**です。

来年度の介護報酬改定は「地域で安心して暮らし続けられる社会を守るのか」が問われる重要な議論ですので、解説していきます。

〈介護施設等の経営状況〉

特別養護老人ホームでは、令和6年度の利益率が0.1%まで低下し、ほとんど利益が出ない状況となっています。さらに、約半数の施設が赤字経営に陥っています。養護老人ホームや軽費老人ホームでは、赤字割合が6割を超える状況です。

この背景には、電気代や食材費などの物価高騰があります。しかし、介護事業者は一般企業のようにサービス価格を自由に上げることができません。介護報酬は国が定めるため、コスト増をそのまま反映できない仕組みになっています。

〈深刻な人材不足〉

加えて、人材不足は極めて深刻で

す。

介護職の給与は他産業との格差が依然として大きく、現場では人材確保が難しくなっています。特に、介護支援専門員（ケアマネジャー）の有効求人倍率は8倍を超えており、1人の人材を複数の事業所が奪い合う状況となっています。

〈介護は地域社会を支える基盤〉

介護は、単なる福祉政策ではありません。日本の社会基盤そのものを支える重要な仕組みです。もし介護サービスを維持できなくなれば、「親の介護のために仕事を辞める」「介護離職が増え、地域経済や地域コミュニティにも大きな影響が及びます。

介護を守ることは、働く世代を支えることであり、地域の雇用や暮らし、地域社会そのものを守ることにつながるのです。

〈令和9年度の介護報酬改定の方向性〉

私は、次回の介護報酬改定において、少なくとも次の**5つの視点**が必要不可欠だと考えています。

- ①物価高騰を適切に反映した介護報酬への見直し
- ②他産業に負けない処遇改善による人材確保
- ③センサーなどを活用した介護DXへの投資による生産性向上
- ④南海トラフ地震も見据えた施設の

耐震化や防災体制の強化
⑤現場を疲弊させている過度な事務負担の抜本的な見直し

〈地域の未来を支える介護へ〉

介護施設は、単なる福祉施設ではありません。災害時には地域を支える防災拠点にもなる、東三河の重要な社会インフラです。

私は、政治は単に財政支援を行うだけでなく、**地域全体で介護を支えられる仕組みをつくる**ことが重要だと考えています。住民の皆さま一人ひとりが、介護や認知症への理解を深め、地域で支え合える環境を整えていくことも、これからの超高齢社会には欠かせません。

2035年には、団塊ジュニア世代が高齢期を迎え、介護需要はさらに大きく増加します。その時になっ

て慌てるのではなく、今から地域の介護体制を立て直していかなければなりません。

「介護という社会インフラを将来にわたって守り抜く」、これを実行することが、政治の責任だと考えています。

豊橋・田原で、誰もが安心して歳を重ねられる**超幸齢社会**を実現するために、引き続き全力で取り組んでまいります。

山本左近の活動はこちら



H.P. YouTube Twitter Facebook Instagram



《やまもと・さこん》

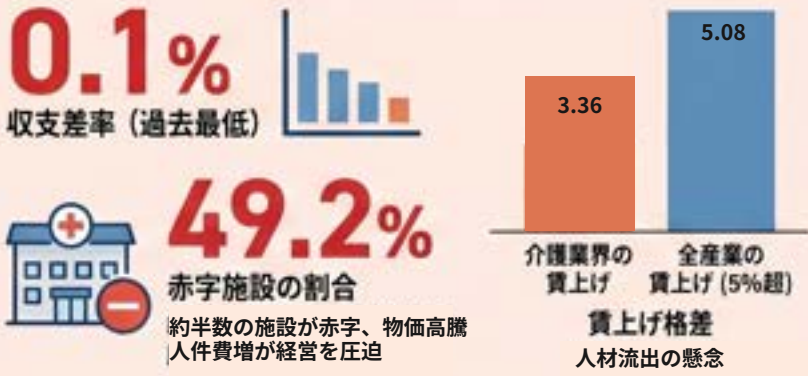
愛知県豊橋市出身。1982年7月9日生まれ。43歳。豊橋南高校卒業、南山大学。11歳、レーシングキャリアアスリート。19歳、単身渡欧。24歳、当時日本人最年少F1ドライバーデビュー。30歳、帰国後、医療介護福祉の世界に。医療法人・社会福祉法人さわらびグループの統括本部長就任。2019年第25回参議院議員通常選挙（比例代表）に自民党公認で立候補し、落選。2021年第49回衆議院議員総選挙（東海ブロック比例代表）に自民党公認で立候補し初当選。当選直後から、合成燃料の国産化の必要性を訴え、3年以内に日本初の実証プラントの稼働を実現した。また、2022年8月、初当選後一年に満たない中、文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官に異例の抜擢。科学技術・文化の担務を中心に活躍。2024年第50回衆議院議員総選挙にて落選。2026年第51回衆議院議員総選挙にて2期目の当選。英語、スペイン語を話すマルチリンガル。

衆議院議員
山本左近

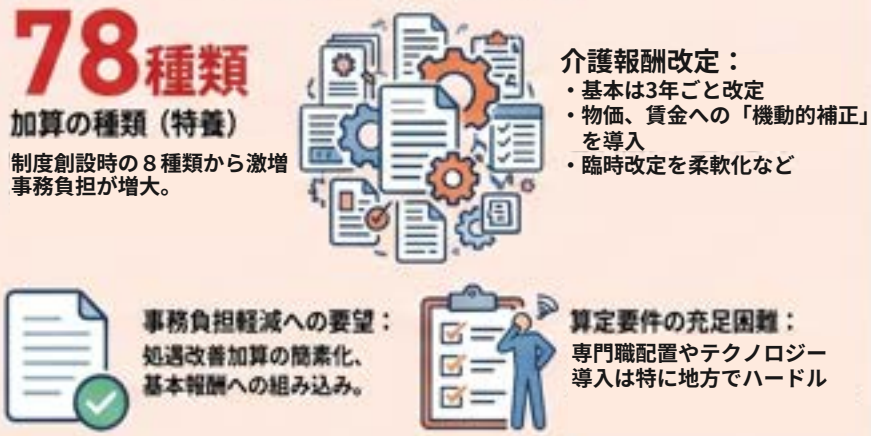
超幸齢社会をデザインする

令和9年度 介護報酬改定への提言：持続可能な介護の未来のために

介護経営の危機的現状



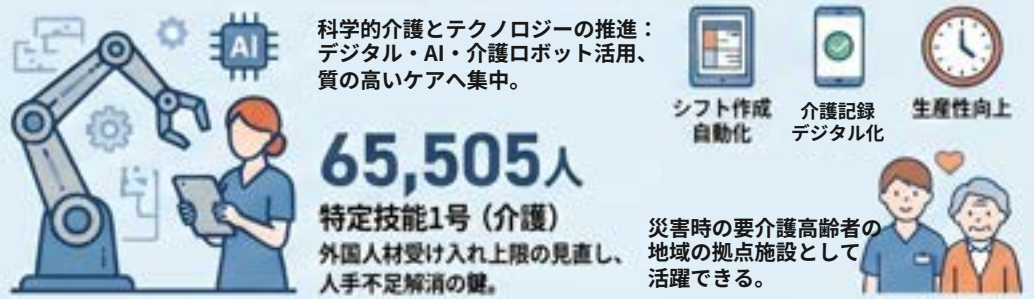
複雑化する制度の壁



令和9年度改定への3つの柱



生産性向上と未来の介護



橋本聖子スポーツ立国調査会長のもとバーチャルスポーツ・スポーツDX推進PTが立ち上がる。山下貴司座長のもとで事務局長として司会を務める。



国土交通委員会にて、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律案を衆議院で可決。真面目な委員会中も笑顔が出るやりとりも。



自民党・国際局の事務局次長に就任。河野局長のもと、今後は政党間外交も積極的に行なっていくなど会議で方針が示され議論。



豊橋が世界に誇るモノづくり企業西島株式会社(NISHIJIMAX)さんの新工場を視察。豊橋から世界へ挑戦されている西島社長と。



これまで一人で立ってきた早朝の駅頭。後援会の皆さんと一緒に駅頭し、通勤・通学等の皆様にご挨拶。



豊橋・芦原にてミニ集会を実施。落選中、毎週のように顔を合わせてきた皆さんと久しぶりの意見交換。

JAPAN as No.1 Again!
日本を再び世界一の国へ